

事務事業名		佐野地区税務協議会参画事業					評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	5 市民みんなで作る夢のあるまちづくり					担当	担当部	総合政策部	担当課	市民税課
	政策	2 自立した行政経営によるまちづくり					組織	担当係	税政係	担当課長名	片野 憲
	施策	2 持続可能な財政運営の推進					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 市税の収納率の維持・向上					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	2705	一般	2	2	1	佐野地区税務協議会参画事業					
	事業区分						市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
事業計画	単年度繰り返し		事業期間	S30年度～ 年度		根拠法令 条例等	佐野地区税務協議会会則		任意的事業・義務的事業		任意的事業
							実施方法		直営		
							事業分類		参画事業		
						リーディングプロジェクト		該当なし			
						市長マニフェスト		該当なし			

1. 事務事業の現状把握[DO]

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
佐野地区税務協議会に会員として負担金を支出している。税務署・県税事務所・市の3者による事務改善、資料収集、情報交換、研修会開催などを実施している。 * 佐野地区税務協議会とは、国・県・市、相互の連絡協調を図るとともに、事務の改善研究及び会員相互の親睦を図ることを目的とする団体である。			(市の活動) 佐野地区税務協議会に負担金の支出、協議会が行う会議、研修会、説明会等に参加する。 (佐野地区税務協議会の活動) 新人職員研修、徴収関係事務研修、賦課関係事務研修、確定申告関係研修、資料収集、年末調整説明会、青色決算説明会等の開催 申告の啓発・広報用横断幕の東飯庁舎西側壁面等への設置							
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			研修回数	回	4	4	4			
			共同事業	回	5	5	5			
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
市職員(市民税課、資産税課、収納課の税務職員)			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
(参画対象団体) 佐野地区税務協議会			税務職員数	人	57	57	56			
目的										
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
賦課・徴収、確定申告等の研修会等を開催することで、税務職員の知識向上や情報交換を行い、税務事務の円滑な執行を図る。			研修・共同事業実施回数	回	9	9	9			
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
十分な歳入が確保されている。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			市税収納率(現年課税分)	%	98.7	98.9	98.3			

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	30	30	30			
	事業費計(A)	千円	30	30	30	0	0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			負担金	30	負担金	30	負担金	30
	人件費	人						
のべ業務時間	時間	250	250	250				
人件費計(B)	千円	973	985	985	0	0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,003	1,015	1,015	0	0		

事務事業名	佐野地区税務協議会参画事業	担当部	総合政策部	担当課	市民税課	担当係	税政係
-------	---------------	-----	-------	-----	------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	昭和30年4月、国・県・市相互の連絡協調を図ると共に、事務の改善研究及び会員相互の親睦を図ることを目的に設立された。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	三位一体の改革による税源移譲や政権交代の影響などにより、税制改正が毎年行われ、目まぐるしく変化している。国税の電子申告e-TAX(イータックス)と、地方税(道府県税、市町村税)の電子申告eLTAX(エルタックス)の利用推進を図っている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	なし。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	
	結びついている	理由・改善案 税務職員の知識向上が図られ、税務事務が円滑に執行されることは、市税の賦課事務及び収納事務が適正に、また、効率的・効果的に執行されることになり、市の歳入の確保につながる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	
	市が行わなければならない	理由・改善案 税務職員の知識向上を図ることは、市税関係事務を執行するうえで必要なことである。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	
	妥当である	理由・改善案 佐野地区税務協議会は、税務署・県税事務所・市の3者による事務改善、資料収集、情報交換、研修会開催などを実施しており、この協議会に参画することで職員の知識向上等が図られるものなので、対象、意図とも妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	
	成果向上余地がない	理由・改善案 主な活動は、税務署から講師が派遣される研修会への参加方式であり、現状では効果的な方法である。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	
	類似事務事業はない	理由・改善案 類似事務事業名
	*類似事務事業があれば、名称を記入	
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	
	削減の余地はない	理由・改善案 事業費は負担金のみであり、平成20年度分から国・県・市の負担割合を見直して112千円減の41千円となり、23年度負担金は30千円となった。また、人件費の多くは研修会、共同事業の参加者の人件費であるため、削減の余地はない。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	
	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案 この事業に受益者負担はそぐわない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	
		税務署・県税事務所・市の3者による事務改善、資料収集、情報交換、研修会の開催は今後も継続していく必要がある。

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																		
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																			
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	○	×	低下	×	×	
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
成果	向上																			
	維持	○	×																	
	低下	×	×																	